



※イラストの指文字は相手から見た形です。

# 手話も覚えてみよう

vol.37

## ○地域の人とのコミュニケーション

ろう者は音声でのコミュニケーションが難しいため、近所付き合いが苦手な人もおり、事故や災害時の対応に課題が生じる場合があります。近所で火事が起きても消防車のサイレンの音が聞こえず、周りの人が避難する中、何も知らずに寝ていたという例もあります。

いざという時のためにも、さまざまな手段で情報を入手できるようにするとともに、普段から声を掛け合うような近隣との関係づくりも重要です。日頃のあいさつや自治会活動での交流などを通して、ろう者に対する理解を広めていきましょう。

やってみよう！～身近な言葉の手話～  
普段使う言葉を手話でやってみましょう。 ※QRコードを読み込んで、手話の動画を見ることもできます。

### 引っ越し

両手の指先をつけて、家の屋根の形を作り、軽く弧を描きながら隣へ動かす。

### 住所

両手の指先を付けて家の屋根の形を作り、左手だけ残して右手の指を軽く曲げて下におろす。

問い合わせ先 福祉支援課障がい福祉担当 ☎(584)1127 📠(584)1154



## vol.28 自治会通信

自治会加入が暮らしの安心につながります



自治会加入申し込みはこちら

### 自分たちのまちは自分たちできれいに

自治会では、みんなで地域の環境を守るために、定期的な清掃や資源回収、回収倉庫の管理などを行っています。中でも、春と秋の恒例行事として自治会連合会主催で実施しているのが、市内一斉清掃「クリーン作戦」です。子どもたちが参加することで、地域への愛着や責任感が育ち、環境への影響を学ぶ機会にもなります。また、地域の人と関わることで、地域全体で育てるという人のつながりが生まれ、暮らしやすい地域になっていきます。

※春のクリーン作戦は5月10日(日)です。詳しくは23ページをご覧ください。

### 昇町地区自治会 三与木康典会長

昇町地区では、コミュニティ・スクールの一環として、毎年、多くの中学生がクリーン作戦に参加します。

子どもたちは大人と肩を並べ、真剣に取り組んでくれます。世代を超えて、「自分たちのまちは自分たちで美しくする」という共通の目標に向かって汗を流す、すがすがしい光景が広がります。

作業をしながら自然と会話が弾み、地域住民の交流の時間にもなっています。



▲子どもも大人も一緒に清掃

問い合わせ先 地域づくり課協働推進担当 ☎(584)1111(代) 📠(584)1153